

受理番号	陳情第2号	件名	戸田市ヘイトスピーチ防止条例の制定に関する
受理年月日	7.12.15		陳情
陳情者			

**【要旨】**

昨今、神奈川県川崎市をはじめ、東京・群馬・愛知・大阪・東京・宮崎・沖縄において、いわゆる「ヘイトスピーチ」の拡散を防止、あるいは禁止する条例の制定がなされております。ここで述べる「ヘイトスピーチ」の定義は特定の国籍・民族・コミュニティを対象とし、事実に基づかない、もしくは、事実を意図的に誇張・曲解した上での政治的主張をもって差別をあおり、結果として対象に危害を加えることを指します。周知のとおり、埼玉県南部地域は戸田市も含め、隣接する蕨・川口を中心に古くから在日外国人が多数居住する地域であり、昨今も「外国人問題」を論点として、政治的主張から逸脱したばかり雑言が散見されるようになりました。当市においても、それらを防止・禁止する条例の制定を求めます。

**【理由】**

本年1月の市議選で、初当選した一部議員が、排外主義を掲げる政党(日本大和党)を主宰しており、主に隣接する蕨市・川口市において、数々の集会を催しています。本年10月26日には、「全国一斉移民政策反対デモ」の埼玉県会場として、戸田公園前での演説や、移民排斥を掲げた「デモ行進」を主催し、反対側の陣営(カウンター)の集団と共に騒然となった事は記憶に新しいかと存じます。(因みに、本イベントの演説には、現在、選挙活動中の傷害容疑で逮捕され、また、兵庫県議に対するデマを吹聴し、自死を招いた「NHK から国民を守る党」(旧称)の党首も登壇しています)また、蕨駅前の在日クルド人の方が経営している飲食店では、かねてから排外主義を掲げる集団(チューバー等)が明確な営業妨害を幾度となく繰り返してきましたが、つい先日も、前述の市議会議員が加担した様子が広く拡散されました。先述した排外主義者の集団も、元は川崎で主に朝鮮半島をルーツとする人々に対してヘイトを先導してきた人々が、条例の制定を機にターゲットをクルド人(そして、在日朝鮮・中国人)に変え、ここ2・3年で移ってきた経緯があります。私は延べ20年、人生の半分を戸田を中心として埼玉県内で生活をしていますが、「治安の悪さ」を感じたことはほぼありません。もちろん、時折起こる個々の事案に対しては法にのっとって厳正に対処しなければなりません、それらが属する国籍・民族・コミュニティを理由として恣意的な運用が行われるべきではありません。文化が異なる者同士、摩擦が起きるのは自然発生的なもので、防ぎようはないと考えます。だからこそ、行政が主体となって、それらを少しでも緩和することが求められているはずです。これ以上、一部の議員を中心とした、「政治的主張」を逸脱した憎悪に基づくパフォーマンスが行われることは、私を含めた戸田市民の評判を著しくおとしめるものであります。条例の制定に至らずとも、議会において抑止をかける

ことはできませんでしょうか。